

- 語り合う
- 生命誌の広場
- 中村桂子の「ちょっと一言」
- ラボ日記
- 表現スタッフ日記
- さまざまな交流
- 生命誌のこれからを考える

## 生命誌の広場

### テーマ別に投稿を読む

- 中村桂子の「ちょっと一言」
- 研究について
- 季刊「生命誌」
- 展示・映像
- その他

### あなたの考えをお聞かせください

ご意見はこちらから

### 最新のお返事

- 2019年10月02日  
[RE:アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月26日  
[アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月13日  
[原爆について](#)
- 2019年09月05日  
[BRHメールマガジン vol.363 新着情報](#)
- 2019年08月28日  
[この夏一番元気だったものは？](#)

### 最新のご意見

- 2019年09月27日  
[RE:アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月25日  
[アゲハの気持ち](#)
- 2019年09月09日  
[原爆について](#)
- 2019年09月05日  
[BRHメールマガジン vol.363 新着情報](#)
- 2019年08月23日  
[この夏一番元気だったものは？](#)

### 過去の書き込み

2019年 10月  
GO

### みなさんからのご意見

#### 季刊「生命誌」

#### 読後コメント

投稿日：2015.09.24 名前：喜多良雄

生命誌86号をお送り頂き有難うございます。細胞、微生物から自然界、植物、動物、人間まで大いなる輪廻、生命の連鎖、つながりがあることを生命誌から学んでいます。生きるを語られる姿勢、難しいことを難しく論述されるのではなく、かえって難しい、難しいことをやさしく論述される視点が門外漢に解らないながらも知的好奇心を拓いてくれます。コノハムシなどの擬態生物はどのようにして「似る」ということを学ぶのでしょうか。まるで鏡に自らを写して点検しながら「そっくり」になりきっている。恐竜時代から生き延びてきたというコノハムシの生き延びる工夫に興味は尽きません。種が生き残るための叡智を沢山持っているのでしょうか。～広報たかつき～に時折り「子供向けの催し」が掲載されています。可能なれば夏冬休みに向けた研究館の催しも市の広報誌とタイアップされてはいかがでしょうか。

#### お返事

投稿日：2015.09.29 名前：中村桂子館長

生命誌を楽しんでいただき、励みになります。ありがとうございます。コノハムシも含め、生きものたちを見ていると、「？」と「！」の連続です。答はなかなか・・・。

#### 研究について

#### 憲法と蛋白質機能

投稿日：2015.09.23 名前：鈴木節士

最近、安保法制の成立が大きな問題になり、憲法学者のみならず、自然科学を含め多くの分野の学者が反対の声をあげています。改めて日本国憲法を読むと、憲法と言う法体系はよくできていることに感銘を受けました。私は若いときに蛋白質の機能の研究に関与したのですが、憲法は機能性蛋白質とよく類似していると感じています。機能性蛋白質にはアロステリック部位があり、この部位にリガンドやアンタゴニストが結合したり、変異を受けると、蛋白質全体の立体構造が変化して、細胞情報伝達機能や、触媒機能が大きな影響を受けます。日本国憲法の第9条がちょうど蛋白質のアロステリック部位に相当するように思います。今回のように政府が憲法第9条の解釈を変えると、憲法条文にある他の重要部分、基本的人権とか、主権在民とか、三権分立とかの憲法を支える基本部分が揺らぐか、あるいは機能不全に陥ることを感じます。中村先生のお考えをお聞かせ頂ければ幸いに存じます。

#### お返事

投稿日：2015.09.29 名前：中村桂子館長

御自身のお仕事とつなげて考えることを楽しんでいらっしゃる御様子がわかります。お仕事を好きでいらっしゃるからでしょう。それはともかく、憲法の基本は勝手に変えず、子どもの頃習ったことを大切にしていきたいと思っ



- 10月19日生命誌オープンラボ (19.10.01)
- 10月4、5日 生命誌を考える映画鑑賞会(19.10.01)
- 昆虫脳の標本展示が登場！(19.10.01)
- パラパラめくる生命誌3ダウンロード開始(19.10.01)
- あくあびあ芥川とスタンプラリー開催(19.10.01)

ています。基本的人権、主権在民など大人になると日常考えないままに過します。それですめば一番幸せなのかもしれませんが、考える必要がある時は、原点に戻って考えることだと最近の動きの中で感じています。小学校・中学校で教えられたことを忘れずにと。



## 研究について

### AI(人工知能) について

投稿日：2015.09.14 名前：久保 新一

9月12日軽井沢土曜懇話会」で「いのちのひろがり」拝聴し、感動いたしました。その時自重した質問です。

・ The Singularity is Near! 地球温暖化の影響が深刻化する前に、AI（人工知能）が人類の終末を招きかねない、という事態をどう受け止めるべきか。AIについてのお考えをお聞かせ願います。

### お返事

投稿日：2015.09.17 名前：中村桂子館長

軽井沢ではありがとうございました。

人工知能のことを書くととても長くなりますので一言。実は子どものための科学の雑誌に「人工知能は人間を越えるか」という特集がありました。この問い自身が無意味と私は思っています。人工知能はあくまで技術です。技術はある能力で人間を越えるにきまっています。自動車は人より速く動きますし、クレーンは人より力持ちです。部分で人間以上のことをするのが技術ですから、チェスに勝つ人工知能はできるでしょう。でも「技術が人間を越えることはない。人間とは異なるものという意識が大切ではないでしょうか。ホーキングらが心配しているAGI、ASIなども含めてそう思います。人間と見間違えるようなロボットをつくることなどは止めることが一つの選択だと思っています。



## 展示・映像

### お礼

投稿日：2015.09.13 ニックネーム：TAMO

本日映画を拝見し、書籍にサインも頂戴し言葉も交わして下さったことにとっても感謝しております。

恥ずかしながらお財布に手持ち現金がなかった為に、悩んだ末コンビニへダッシュしましたが戻ってきた時にお帰りになっていたら・・・と心配しましたのに。昨年GWに秋田へ帰省の際、初めて震災後の宮城に立ち寄り語り部タクシーを利用しながら数時間かけて馴染み深き場所を震災後初めて回りました。

震災当時はまだ葉が手放せない身体でしたので、好意のつもりが足手まといになるかもと、脚を踏み入れずにいたのです。

震災から3年経っても寂しいままの敷地一面に咲き誇るたんぽぽ群が印象に残っています。

そのたんぽぽを摘んでは、語り部タクシーさんに案内していただいた箇所に時折立つ慰霊碑に供えて参りましたのを思い出していました。

今、漸く葉を手放せ、思いっきり動けるようにはなったものの

はてさて、これからどうしていこうかという問いを抱えている時に

中村さんがこの映画を見てお言葉を少しでも交わせたことを嬉しく想い、私なりの形を選びつつも継承し表現していきたいと想えました事、感謝いたします。

激しく告発する以上に、静かではあっても確かに脈打つマグマは

共鳴しあって補い合い、広げあい、編みながら繋がっていくのだと信じています。

### お返事

投稿日：2015.09.17 名前：中村桂子館長

こちらこそ本当にありがとうございました。

今日本にとって一番先にやらなければならないことはオリンピックでもなければ、ましてや戦争を考えることでもなく、東日本大震災のことだと思えます。

お互いに自分のできることで大事と思うことを少しずつでもやっていくお仲間としてよろしく願いいたします。



出会えたことが、嬉しくて。

投稿日：2015.09.01 ニックネーム：おかげさま

中村桂子先生に、出会えたことが、今年一番嬉しかったことです。

『生命』を、どう理解してゆけば良いのか。

研究館に足を運び  
桂子先生の書かれた文章を読み

難しいことをわかりやすく、そして普通の大衆でも、それを暮らしに反映させて  
営んでいける気がしました。

そこが魅力でした。

私は一般大衆の中の1人ですが  
先生に出会うまでに、私が思って実践してきたのは

生き物の中では、最も新参者の人類が  
他の生き物に無い、叡智を与えられて存在するならば

生態系のバランスを、その人類の叡智をもって、とってゆくことが、人類の役  
割ではないかと。

和える・愛づる・美しい

そんな地球内の生態系が、理想的だなあと思い

身近なところから、崩れかけている生態系を治療してゆく気持ちで、海の者、  
川の者、里の者、山の者  
強いては、魚好き、昆虫好き、鳥好き、植物好きなど

地域の方々の専門や、力を持ち寄って

小さな地域の範囲、山から海への循環を協力しながら  
循環型社会を目指してゆくためにも

地域農業の自給や、自然エネルギーの自給  
生き物たちの観測や、治療、バランス  
人々の暮らしの見直しなど

そこに、科学  
桂子先生たち生命誌は

それらを、本質から、具体的に確信を与えてくれたり  
あやふやを、明確にしてくれたり

何よりも、身近なお母さんから、そんな大切なことを、教えてもらってるよう  
な親近感のある気持ちになれることが

幸せだったり、豊かだなあと思えたりしました。

きっと、これから、ずっと、何回も何回も桂子先生の文章を繰り返し読み、先  
生が望む未来とは。を、私は深めながら

私の暮らしに、実践させていくんだと思います。

いつまでもお元気で、長生きしてくださいね。  
大好きです。

文章下手くそで、すみません。

お返事

投稿日：2015.09.11 名前：中村桂子館長

お書き下さったような気持で皆が暮らしたら、どんなにか暮らしやすい社会  
になるだろうかと思います。少しの人でも、小さなことでもよい方向につな

がるようにと思います。

▲ ページの先頭へ

[サイトのご利用について](#) | [プライバシーポリシー](#) | [サイトマップ](#) | [お問い合わせ](#) | [サイトマップ](#)



JT生命誌研究館  
〒569-1125 大阪府高槻市紫町1-1 TEL:072-681-9750 (代) FAX:072-681-9743

copyright © JT Biohistory Research Hall 2012.